



筑波山麓谷津田再生事業

活動場所：つくば市神郡

「すそみの田んぼ」と名づけた景色の美しい谷津田です。生きものと共存する米づくりや周辺の里山整備を实践して、豊かな自然を未来へ持続させることをめざし、今年で3年目になりました。無農薬の米づくりも毎年が新たな挑戦、冬季溜水、不耕起の成果はいかに？一緒に活動する仲間も増えています！ いよいよ稲刈り、ぜひご参加を！



にぎやかに田植えを行なうことが出来ました！
(撮影 滝原 逸郎氏)



「田んぼボランティア」の皆さんが活躍！ 一緒に米づくりを楽しみませんか？ 親子での参加大歓迎です。



ビオトープの整備で、生きものも子どもも大喜び！

企業ボランティア

里山の強力な応援団！
NTT 労組東日本総支部
(植樹地の草刈り)、(株)ガリバーインターナショナル
(竹林の整備)の皆様、ありがとうございました！



6/14 NTT



7/23 ガリバー

これからの米づくりイベント

9月15日(祝) 稲刈り

10月13日(祝) 収穫祭

日程は天候や生育状況によって変更される可能性があります。

米づくり支援金募集中！

全収穫量の1/2を支援者(50口)に配分します。予測は15~20kg(天候等で変動)一口1万円(送料込み)残り10口です！



都市農村交流 すそみのふるさとづくり

筑波山麓地域情報紙「すそみろく」第7号発行！！

活動場所：つくば市六所

自然豊かな筑波山麓を元気にするための活動を、地元田井地区の人たちと取り組んでいます。「すそみろく」は毎号大好評！筑波山神社、ケーブルカー・ロープウェイ、旅館など筑波山周辺や、つくばエクスプレスの情報センター(秋葉原駅)等で配布しています。昔の参詣道「白滝古道」の復活に向けての取り組みも始まっています。都市から応援に来る人も、ここに住む人も、一緒になって地域を盛り立てる活動を展開します。【全労済地域貢献助成事業】



筑波山麓自然学校

活動場所：筑波ふれあいの里(つくば市委託事業)

この夏も、筑波山麓の自然を、たくさんの方々とたっぷり体験しました。7/12「昆虫ナイトウォッチング」、7/20「夏の昆虫観察会」、8/2「沢の生きもの観察会」を実施。どの行事も、受付開始後すぐに満員御礼に。参加できない希望者もたくさん出てしまいました。それだけ筑波山麓の夏の自然は魅力的なんですね！ 秋～冬の行事もお楽しみに！



いろいろな昆虫がライトトラップに集まりました



廣瀬先生の話に聞き入ってしまいます



涼しい沢で生きもの探し！

筑波山麓自然学校は、つくば市「筑波ふれあいの里」の主催行事です(つくば環境フォーラムが企画・運営を担当。今年で7年目になります。)これからの行事日程について、は別紙案内をご覧ください。

ter 筑波山ファンクラブ

活動場所：筑波山・加波山・小田山

筑波山の豊かな自然は未来への大きな財産です。この自然を守り育てる人の輪を広げることをめざし、観察会・調査等の活動をしています。

4/10 カタクリ調査 4/20 観察会「カタクリと春の野草」 5/10 観察会「春の野草とブナの開花」 6/22 「ホシザキユキノシタ生地生育現状調査」 7/6 ブナ衰退度調査



私たちの信条
筑波山の自然を愛します
筑波山の自然の見守り活動を継続します
筑波山の自然のすばらしさを広めます
自然の草花の採取はしません

ter しぜんっこくらぶ in ゆかりの森

活動場所：豊里ゆかりの森

幼児とお母さんたちが集う自然体験教室。ゆかりの森で生きものと触れ合い、森の素材を利用したクラフトや畑の恵みを収穫して食べるプログラムなどを実施しました。火、金の2クラスとも満員です。



5/16,27 新緑の森へ行こう！



6/6,10 ざりがにとあそぼう



7/1,4 じゃがいも収穫祭

ter オオムラサキの棲む里山づくり

活動場所：下平塚くぬぎの森

良好な里山の象徴である国蝶オオムラサキが棲み続けられる雑木林の保全・再生をめざし、毎月第4土曜日に森づくりボランティアを実施しています。2003年に植樹した雑木林も大きくなってきました。この夏も草刈りに汗を流しました。【エコーいばらき環境保全基金助成事業】

開発地から保護したオオムラサキを島名小学校で飼育し、子どもたちと、総合学習の授業を通して見守っています。



整備が進んだ森にオオムラサキを子どもたちと一緒に放しました。

ter 里山こどもワンダーランド作戦

活動場所：下平塚くぬぎの森

手入れされた雑木林の豊かさと恵みを子どもたちに体験してほしい、自然との共生について子どもたちに学んでほしい、そんな思いで活動しています。今年度前半は、「里山こども調査隊」を募集し、2年生から5年生までの子どもたちが元気いっぱい、森の探検と調査、生きもの観察、スケッチなど、鈴木成美先生と3回の活動を実施しました。森の生きものマップを作成し、生きものと環境のかわりについて学びました。【子どもゆめ基金助成事業】



筑波大生の学生ボランティアも一緒に活動

ter その他の事業

依頼を受けて以下の調査を実施しました。

茨城県自然博物館「ブナ毎木調査」

つくば市土地改良課「水路の生物調査とメダカ保全へ向けての提案」



筑波山のブナは、自然分布の南限に近く、たいへん貴重ですが、近年、地球温暖化に伴う衰退が懸念されています。南斜面のブナ約2千本を博物館とともに調査し、位置や大きさ健康度を記録しました。



つくば市大曾根地区の土水路には、絶滅危惧種のメダカなどたくさんの生物が棲んでいます。工事が予定されています。水路の現状や生物相、地域全体の環境等を調査し、メダカをはじめとする生きもの保全策を検討、提案します。